

教育的価値	具体の項目	教育課程
2【かかわる】	⑪【ボランティア】他の人や地域社会に役立つことを自ら進んで実践し、他人の喜びを自分の喜びとして共感する。 ⑫【復旧・復興へのあゆみ】震災津波で被害を受けた交通網や産業、住宅やまちの復旧・復興の状況を調べ安全で、生き生きとしたまちづくりにかかわる。	総合的な学習の時間 行事

【題材】

元気 笑顔 つなげよう ―ともに生きていくために―

【対象】 4年生 61名

【実践の概要】

1 笑顔広がれ 平泉

「笑顔広がれ 平泉」をテーマに、「地域のお年寄りを笑顔にしよう!」という視点で交流学習を行った。1回目と2回目の訪問の間にキャップハンディ体験を挟み、関わり方について話し合い、相手意識とは何かを考える機会とした。他の人や地域社会に役立つことを実践する一歩とした。

2 被災地訪問

- (1) 被災地を訪問し、津波被害の実態を知ることにより、防災の大切さを学ぶとともに、復興に向けた取組について理解する。
- (2) 災害発生時から今日に至るまでのお話を聞くことにより、被災地の方々の苦労や大変さを知り、一人一人ができることを考え復興に向けて主体的に関わろうとする態度を育てる。



3 発信しよう 私たちの学び 元気 笑顔 つなげていこう～「平泉讃歌」に込めて～

【実践の詳細】

1 笑顔広がれ 平泉 「地域の介護福祉施設訪問」

5月の訪問では、まだごちなかつた児童。その後、社会福祉協議会の指導員さんを講師に迎え、キャップハンディ体験を実施した。これにより、体の不自由な人の現状を少しではあるが体験を通し実感することができた。この“困難さ”をふまえた上で、さらにより関わり方をグループで話し合い、全体で確認し、次回に生かすこととした。

6月の訪問では、児童に変容が見られた。相手に合わせて考えることを心がけることで、児童は自信をもってお年寄りの方々に接することができた。児童の打ち解けた雰囲気や相手が相手にも伝わりお年寄りも笑顔で児童と交流していた。児童はこの体験を「笑顔ポイント」としてまとめた。

- 笑顔ポイント1：自分も笑顔で 聞く・話す
- 笑顔ポイント2：相手の目を見て 聞く・話す
- 笑顔ポイント3：うなずきながら 聞く
- 笑顔ポイント4：大きく・ゆっくりと近くで 話す
- 笑顔ポイント5：「いっしょにどうぞ」と声をかける

おばあちゃん、何回もリクエストしていいんだよ。わたしやるよ。



やったね。遊びのルールを簡単にしたら分かってくれたあ!



〈児童が学んだこと〉

おじいさんおばあさんのことを理解することで、よりよい関わり方ができること。相手が喜ぶと自分たちもうれしいということ。私たちが行くだけでうれしいという、受け入れてもらえる“喜び”を感じたこと。顔を近づけて相手の目を見て話すときよく伝わること。

その後、児童は暑中見舞いや年賀状を送るなどの交流を続けている。

2 被災地訪問

8月、4年生は被災した陸前高田に行った。普段の学校生活では、避難訓練をしたり非常時の安全な行動の仕方を学んだりする機会はあるが、実際に被災した場所に行き、話を聞くのは初めての経験だった。

震災語り部さんがバスに同乗し、一緒に被災地を回り、説明をしてくださった。震災遺構となる中学校の校舎や5階建ての住宅を見て、子どもたちは言葉を失ってしまった。道の駅では、追悼施設があり、被災した方々や町へ手を合わせた。震災の時4年生児童はまだ就学前で、だんだん当時のことを忘れてきてしまうこともある。今回の訪問で改めて震災や津波の恐ろしさ、現在の復興の様子を確認することができた。



窓がない校舎に絶句



語り部さんの話を聴く児童

〈児童が書いたお礼の手紙（抜粋）〉

津波の時のことを教えていただきありがとうございました。まだ200人以上が行方不明だということ、中学校などのグラウンドに仮設住宅が建っていること、草が生えているところは住宅だったんだということを知り驚きました。菅野さんに教えてもらった①川に沿って逃げない②二度逃げ③つなみてんでんこ④遠くへ行くより高いところ！を覚えて忘れずに実行したいなと思いました。津波にのみ込まれた人たちのことを拝んだことが心に残りました。たくさん人がこのお話を聞いてくれるといいのになと思いました。

〈語り部さんからのお返事〉

こんにちは。四年生の皆様お元気ですか。八月に語り部をさせて頂きました。お話を真剣に聴いていただきとてもうれしかったです。皆さんの平泉は震災の年に世界文化遺産となり長年の藤原清衡公の思いが時を超えて光り輝いたのだと信じています。みなさんに出会えたことを大切にします。お手紙を頂き、うれし涙を流しました。しっかりと自分なりの震災の受け止め方をしているその中に、人としての優しさを感じられる皆さん。ステキな大人になってくれるものと頼もしく思いました。またいつの日か、皆様に会える日を楽しみにしています。

3 発信しよう 私たちの学び ～「平泉讃歌」に込めて～「平泉町社会福祉大会」



〈保護者の感想〉

感動しました。息が合った歌でしたね。福祉大会の日、発表を聴いて涙ぐんでいた人もいたんだよ。すごいね。

自分達が学んだことをしっかりと伝えることができてよかったね。

この日のために4年生は毎日、呼びかけ練習・合唱練習を繰り返してきた。ふるさとに対する誇りと、地域とのつながりを大切にしたいという思いを込め、平泉讃歌を歌い上げ、会を大いに盛り上げた。お客さんが涙したりうなずいたりする姿に、自分たちの思いが伝わる喜びを感じながら、最後まで堂々と学習してきたことを伝えることができた。さらに、学習発表会でも発表し、全校児童や保護者、地域の

方々にも伝えることができた。

〈児童の感想〉

相手を喜ばせようと考えながら活動するって楽しいな。お年寄りだけではなく地域のみんなを笑顔にすることができたよ。

【まとめ】

今年度の活動を通し、児童は自分なりに相手意識をもち、他者と接することについて考えを深めることができた。福祉施設訪問での経験や、8月の語り部さんとの交流で学んだことが、社会福祉大会や学習発表会の発表と心のこもったハーモニーに表現されていた。なによりも4年生61人一人一人の真剣な取組が、ふるさとを大切にしたいという思いの強まりとともに児童の成長につながった。まずは身近な地域との関わりを、私たちの復興教育として大切にしていきたい。